

平成30年度 指定管理者評価シート

指定管理者

施設名	瑞梅寺山の家
設置目的	農林業の振興及び市民の研修の場として活用を図り、もって住民の福祉の向上に資する。
指定管理者名	瑞梅寺行政区
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
評価者名 (施設所管課長)	農林水産課長 重富 敏彦

評価

【評価区分： 優れている(5点)、 適正である(3点)、 改善が必要である(1点)、×抜本的な見直しが必要である(0点)】

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
業務の履行に関する事 こと	指定事業が適切に実施されているか		3	仕様書に定める業務については、適切に実施されていた。
	職員の人員配置は適正であるか		5	日中は常時管理人を配置、イベント時には管理会全員で対応しており、不備なく人員配置を実施していた。
	職員の労働条件は適正に保たれているか (賃金、労働時間等)	○	3	適正であった。
	職員に対して必要な研修等を実施し、資質向上に努めているか	○	3	管理会にて毎月定例会を実施し、情報共有及び課題点等を協議していた。
	法令が遵守されているか(法定点検や検査等を含む)	○	3	法定点検等、適切に実施されていた。
	開館日、開館時間は守られているか	○	3	定時に開館、閉館が行われていた。
	施設、設備、備品の管理及び保守は適切に行われているか	○	3	各施設の清掃、修繕等を随時行った。
	利用の許可・制限が適正に実施されているか	○	3	適正に実施されていた。
	利用者からの苦情に対し、適切に対応しているか	○	3	適切に対応していただいた。
	帳簿等は適切に整備・保存されているか	○	3	適切に整備・保存されていた。
	個人情報適切に取り扱われているか	○	3	適切に取り扱われていた。
	適正な会計・経理事務が実施されているか (利用料の適正徴収含む)	○	3	適切に実施されていた。
	経費節減の取組がみられるか	○	3	不要な照明を消灯したり簡易な修繕を行う等の取組がみられた。
	市への報告及び必要書類の提出は、遅延なく適宜行われているか		1	福岡県広域連携事業の計画書・報告書の提出が年度末の事業報告書でしか報告が行われていないため、自主事業の時期や内容変更が事前に把握できなかった。
得点小計			42	

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
サービスの質に関すること	利用者に対するサービス向上の取組がみられるか		5	ピザの作り方の指導を行い、サービス向上に取り組まれていた。
	利用者増加の取組がみられるか		5	ピザ窯を利用したピザ作りや藍染め体験、他団体とのイベントの企画に取り組まれていた。
	職員の接客態度(マナー、言葉づかい、服装等)は適切か	○	3	適切であった。
	自主事業の実施により、施設の魅力向上を図っているか		5	ピザ窯を利用したピザ作りや山村宿泊体験、藍染め体験などのイベントを企画し、魅力向上が図られていた。
	利用者の声を反映させるため、利用者アンケート等を実施しているか		3	利用者に声掛けし、アンケート調査を実施していた。
	得点小計		21	
その他				
	得点小計			
合計点			63	
得点率 (合計点/(5点×評価項目数))			0.66	

総合評価	理由
	福岡県広域連携事業に取り組むなど、地元行政区ならではの、自然豊かな地域の特色を活かした事業実施及び管理運営がなされていた。

【総合評価判定の目安】

優 良 …… 0.75～1 適 正 …… 0.50～0.74
 改善必要 …… 0.25～0.49 × 抜本的見直し必要 …… 0～0.24

指導及び助言

<ul style="list-style-type: none"> 施設運営に対し、利用者から苦情等のトラブルもなく適切に運営されているので、今後も継続して適切に運営していただきたい。 自主事業について、内容変更、事業の追加などは、適宜事前に報告すること。

H29年度評価の「指導及び助言」内容に関する対応状況(市による改善の指摘があった場合のみ)
 改善済 改善未済